

特別授業「なぜ学ぶのか?を考える」

(1) 授業実施の目標 (は成果をはかる指標)

「なぜ学ぶのか」について、生徒が多様な考え方にふれながら、自分で答えを発見する。

(文章表現が授業前後で違う)(1 回目、1 時間目の終わり、ワールドカフェのあと)

「学ぶことの大切さ、すばらしさ」について、生徒が授業の中で実感する。

(授業アンケートで「授業がよかった」「学ぶことのよさ・大切さを実感した」と答える生徒の割合)

誰のために学ぶのか、学んだことを将来にどうつなぐのか、学んでいることをどう役立てるのかについて他の生徒とディスカッションする中で考えを深める。(学んで社会をどう変えていくのか)

(文章表現が授業前後で違う)(1 回目、1 時間目の終わり、ワールドカフェのあと)

(感想の中で「友達の意見を聞いて」「2 時間目がよかった」などの記述が多い)

* 学ぶ意味はいくつもあるが、意味を多数持っている生徒ほど学びへの高いモチベーションを維持できるだろう。

その点から、生徒の「学ぶ意味」を増やすことも授業のねらいになる。

* 各教科を学ぶ意義というのも重要なテーマであるが、キャリアの授業という位置づけを考えて教科色はあまり出さない。

準備物：模造紙、マジック、トーキングオブジェ、掲示用の CSL タイムのエチケット

(2) 指導演

1 時間目

	生徒の活動	教員の行動	留意点など
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 今日のねらいを知る 中学生の悩みに答える 近くの人意見を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 今日のねらいとして「学ぶことについて考える授業」「後輩になぜ学ぶのかを語れる(授業できる)ことがゴールであること」を伝える。 中学生の悩みを提示 書けたら近くの人と意見交流。(なぜ勉強するのかわからないという悩み) 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の悩みは誰かを指名して読ませる。 交流は2人一組で短時間。
展開1 5分	<ul style="list-style-type: none"> テーマを自分ごとにする。 なぜ勉強するのか、自分の考えを書く(1回目) 	<ul style="list-style-type: none"> 今日のテーマ再確認。生徒たちもこの中学生と同じような悩みを持っている(持っていた)だろうことを確認。 ・なぜ勉強するのか?(1回目) 	<ul style="list-style-type: none"> なぜ勉強するのか?は悩み回答と重なってもいいことを伝える。
展開2 10分	<ul style="list-style-type: none"> クイズを考える(1位~3位は近くの人と相談してもいい) 	<ul style="list-style-type: none"> クイズ実施(子どもになぜ勉強するのか聞かれたどう答えますかという大人対象のインターネット上のアンケート) 5位と4位の答えを確認し、3位から1位を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> その他が2103人でトップなので、学ぶ意味がいろいろあるだろうことを確認。

	<ul style="list-style-type: none"> ・1位の「将来何かの役に立つ」について、本当に自分の学んでいる各教科が将来に役立つのか考える。 ・コンサルの仕事と教科の学びがどうつながるのかを考える。 ・サッカー選手の仕事と教科の学びがどうつながるのかを考える ・なぜ勉強するのか、自分の考えを書く（2回目） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1位は「将来何かの役に立つ」。では今学んでいる各教科が将来の仕事とどうつながっているのか、社会人の方の例を示す。 1) 経営コンサルタント（野村総合研究所）の方 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルの説明を簡単にしたあとで、この仕事に教科の学びがどう役立つか考えさせる。特にどの教科かを答えさせる。? ・まずは数学だが、すべての教科が大事ということも強調する。 2) プロサッカー選手（FC東京、徳永選手） <ul style="list-style-type: none"> ・体育だけ?? いくつか聞いてみる ・国語の自分の意見を伝える力が大切を確認。 <p><u>なぜ勉強するのですか？（2回目）</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育はまず出てくるはず。他に海外で活躍＝英語、栄養も大切＝家庭科くらいは出てくるのでは？
<p>展開3 15分 ～20分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A～E5人の答えを読み、納得した順にランキング付けする。 ・近くの人と意見交換する。 ・A～Eについて、その背景を知っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・A～E5人の人の「なぜ勉強するのか(学ぶのか)」という問いに対する答えを紹介。 A「社会のルールは頭のいいやつ都合のいいように作られているんだ！だまされなくなかったら、損して負けなくなかったらお前ら勉強しろ！」 B「南山の竹はまっすぐだ。だがこの竹も矢じりをつけ、矢ばねをつければ、まっすぐ飛ぶようになる。学問はそういうものだと思う」 C「日々の生活の充実のため」 D「心の傷を癒すため」 E「未来を作るため、世界を変えるため」 ・納得させられた順に順位をつける。1位と2位はなぜその順位にしたのかも書かせる。 ・それぞれについて詳しくみていく。 A ドラゴン桜。エピソード交えて語る B 孔子の話を語る。 C 高校生の言葉。 ・写真からどんな高校生か考えさせ、ノートの内容紹介。文中の不思議なところを考えさせる。 ・脳腫瘍という脳の病気、癌におかされていること。治る可能性がほとんどないなかで、勉強を選んだこ 	<ul style="list-style-type: none"> 一段落目に注目させる。 指名して反応を見る。 「勉強はしないぞと決めたりもり」「第2クール」あたり注目してほしい。

		<p>と、受験勉強が彼の生きる気力となったことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の言葉紹介「勉強できる間は俺は戦っているのだし、大丈夫と思っている。」 ・Cの「日々の生活の充実のために学ぶ」はこの高校生の言葉だったことを伝える。 <p>D 夜間中学校で学んでいる方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間中学校の卒業式の映像を見せる。 ・自らの夜間中学校での経験も語る。 <p>(駅の看板が読めたこと、年賀状の話)</p> <p>E マララ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真から誰か聞く。 ・彼女がスピーチした映像を見てください。 ・マララについて伝える <ul style="list-style-type: none"> *「教育」の大切さを世界中の人に訴えたこと。 *パキスタンでは女だからと教育を受けられない子どもが多いこと。 *タリバンが来て、女には教育はいらないといわれ、学校に行けなくなり、学校が破壊され、反対する者たちが脅され、処刑されたこと。 ・マララさんの訴え「学校に行くことは、自分たちの未来をつくること」「一本のペンが世界を変える」「教育こそがただ一つの解決策」 	<p>札幌遠友塾 自主夜間中学第15回卒業式 2007年3月の映像を使う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書通信でも取り上げ、英語科のスピーチ課題でもあつたのでおそらくわかるはず) ・マララ映像 (国連スピーチ)
<p>展開4 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A~E5人の答えを読み、納得した順にランキング付けする。 ・1回目と比べて、どう変わったのか、それはなぜかを書く。 ・近くの人と意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背景がわかったところで再びランキング。納得させられた順に順位をつける。1位と2位はなぜその順位にしたのかも書かせる。 ・1回目との変化、その要因を考えさせる 近くの人と意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・1位がどれかは挙手させる。 ・どう変わったのかに注目させることが大切。 ・背景を知ったからと書いている生徒がいれば、何を知ったことで自分はどう考え、どう考えが変わったのかをもう少し考えさせる。
<p>まとめ 3分</p>		<p>この時間のまとめを書く</p> <p><u>あなたはなぜ勉強するのですか？(3回目)</u></p> <p>次の時間へ続く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで書いた感想は次の時間にも使うことを伝える。

2 時間目

	生徒の活動	教員の行動	留意点など
導入 6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ CSL タイムについて、進め方・エチケットを知る。 	<p>「CSL タイム」の進め方・ルール・エチケットを伝える。</p> <p><進め方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒 4 人～5 人程度で一つのテーブル。 ・ テーブルには模造紙とペン。各自ペンを持つ。 ・ オブジェを持った人が話す。他の人は話を聞かすが、気づきなどは模造紙にどんどん書きこむ。 <p>< 5 つのエチケット ></p> <p>リラックス</p> <p>話をよく聴き、対話を楽しむ</p> <p>否定しないで受け止める。質問して広げる。</p> <p>テーマにフォーカス</p> <p>書く！描く！つなぐ！</p> <p>+ 大人は生徒と思う。大人に質問しない。</p> <p>・ 10 分 × 3 ラウンド話し合う。時間になれば酒井が挙手するので、気がついた人は挙手し前を見る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「CSL ターム」は「ワールドカフェ」だが、ここではワールドカフェという言葉は使わない。 ・ 各テーブルに一人、見学の大人に入ってもらおう。(テーブルホスト) ・ エチケットはホワイトボードに掲示 ・ 挙手したら話し合いをやめるのは 2 度ほど練習する。
展開 1 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介、感想の共有。 ・ CSL タイムのやり方を理解。 <p><話し合うもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美容師と理科 ・ ゲームクリエイターと国語 ・ 保育士と社会 <p>どうつながる(教科がどう役立つ)のかを考える</p>	<p>ラウンド 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介と 1 時間目の感想を言う ・ 次に出す仕事をするとき、示された教科はどう役に立ちそうかをなるべく多く出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ねらいは「教科」「職業」の理解 ・ どれかひとつについて話し合い、出尽くしたら次の仕事について話し合うよう伝える。
展開 2 12分	<p><提示する職業></p> <p>「ファッションデザイナー」 「ホテルマン」「弁護士」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座席移動(大人は残る) <p>・ ラウンド 1 で話しあわれた内容を聞いた上で、ラウンド 3 の話し合いをする。</p>	<p>ラウンド 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 つの職業をあげ、その職業につくにあたり、どの教科がどう役に立つのかを考えてもらうことを伝える。 ・ はじめの 1 分で大人はラウンド 1 の話を紹介。 ・ 1 時間目のサッカー選手 - 国語、英語・・・などの例もあげてイメージさせる。 ・ どの職業について話し合いたいか希望をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が話しあいたい職業の希望人数を見て、教員側でどの職業の人がどのテーブルに移動するのかを指示する。 ・ ねらいは「教科」「職業」の理解

<p>展開3 12分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席移動 ・ ラウンド3のテーマを知る ・ ラウンド2で話し合われた内容を共有した上で、ラウンド3の話し合いを始める 	<p>ラウンド3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラウンド3はラウンド1の席に戻っての話し合いであることを伝える。 ・ ラウンド3のテーマ提示 <p>「自分は学んでいることをどう役立てることができるのか？自分は学んでることをどう役立てたいのか？また1や2は誰のためか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びを自分の意義に結びつけて考える（自分ごとにする）。 ・ 明確な目標があり、それに向けて考えるのが、目の前のことを頑張る中で自分のやることを見つけていくのが ということ伝える。 <p>（CSLでは はイチロー型、 は川畑さん型として何度か扱っているため生徒は理解しやすいだろう）</p>
<p>展開4 5分</p>		<p>ふりかえり</p> <p>各グループで感想シェア 各一人発表</p>	<p>時間厳しそうなら、ペアで感想をシェアするにとどめる。</p>
<p>まとめ 5分+ 7分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめの話を聞く ・ アンケート記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒への期待、学部選びの考え方を述べる <p>「みんなの学びを期待してる人が必ずいる」</p> <p>「大学の学部は自分の武器となる知識を見につけるところ。学部選択は武器を選ぶことになる」ことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート記入 	

（参考文献、授業で使う資料など）

「5教科が仕事につながる！数学の時間」(ペリかん社) 松井大介著

「5教科が仕事につながる！国語の時間」(ペリかん社) 小林良子著

「ではまた明日」(草思社) 西田英史(著) 西田 裕三(翻訳)

<http://www.youtube.com/watch?v=hxmgweo39l0> 「札幌遠友塾」自主夜間中学 第15回卒業式 2007年3月(ニュース)

<http://www.youtube.com/watch?v=szQ5cCd-gzk> タリバンに銃撃されたマララさん、国連で演説